

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-13

4-IV-13

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	地元の食の発信
節	IV.ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	13 佐渡の食の発信	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市農業政策課、佐渡連合商工会
事業概要	【事業目的】	○ 地元食材による伝統的な食事のPRや新たなメニュー開発による取組等で、来訪者に地元の食の魅力を発信する。	
	【事業内容】	○ 佐渡の食の魅力発信に向けた関係機関による検討会議を設置し、訴求力のあるメニュー開発等を行う。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡の味覚を堪能する冬季旅行商品2件の商品造成を実施する。 ● 伝統的な食事及び地場産食材の宿泊施設における普及、販売促進する。 	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬紀行商品3件(東京発・新潟発・大阪発)の商品造成をした。 ● 「佐渡冬紀行」を造成(6施設)、東京駅発・新潟港発 合計1,000名販売した。(販売実績530名)食材として佐渡産の「のどぐろ」「活ずわい」「島黒豚」「寒ぶり」をメインに使用した。また、郷土料理「さどごはん」の提供も行った。 	
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取組に参加する宿泊施設が少なく、連休等で申込みが集中する日の部屋数が不足する。滞在中の島内二次交通の選択肢が少ない。 	
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■ より多くの宿泊施設に参加してもらえるよう交渉を行う。二次交通に関しては観光バス事業者と連携して定期観光バス等の整備を行う。 	
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり冬季旅行商品を造成し、1,000名に販売。来訪者には冬季における佐渡の食をPRできたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりキャンセルも多く、販売実績は530名となり、計画を上回る成果は得られなかった。	
	【事業実施の効果】		
	【総合評価】		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。